

七ヶ宿ダムの洪水調節効果(速報)

～ 台風10号に伴う出水での七ヶ宿ダムによる効果 ～

8月30日の台風10号による降雨に伴う出水は、ダムに流れ込む水の量が1秒間で408.3立方メートルにまで達し、七ヶ宿ダムの管理史上第7番目の出水となりました。

七ヶ宿ダムでは、今回の出水においてダム下流に流す水の量を最大流入量時約300m³/sの調節を行い、合計で約1,000万立方メートルの水を貯め込みました。

○ダム下流の河川水位の上昇を緩和

白石市内での河川水位を約40cm低減させ、はん濫注意水位（白石観測所）以下に抑える効果があったものと推測。

○3週間連続しての出水

8月17日台風7号出水から3週間連続で出水となるのは管理開始以降初めてです。

○今年8月のダム流域平均降雨量は過去10ヶ年平均の3.0倍

今年8月のこれまでの降雨量は423.6mmで過去10ヶ年平均8月降雨量の3.0倍に相当します。

<発表記者会：仙南記者クラブ>

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 七ヶ宿ダム管理所

TEL 0224-37-2122 FAX 0224-37-2471

ホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/shichika/>

管理所長 阿部 富雄（内線201）

専門職 柴田 敏明（内線330）

台風10号出水における七ヶ宿ダムの効果(平成28年8月30日)

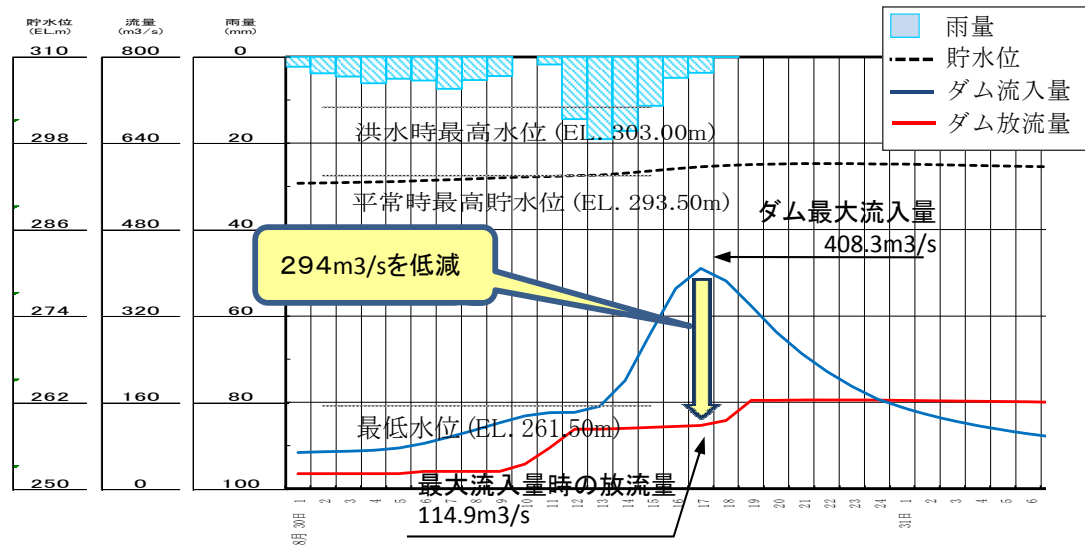
(速報値)

○8月30日、台風10号による降雨により、七ヶ宿ダム上流域の平均累計雨量(28日11時～)は156.5mmに、**最大流入量は1秒間に408.3立方メートル(七ヶ宿ダム管理開始以降第7位)**に達しました。

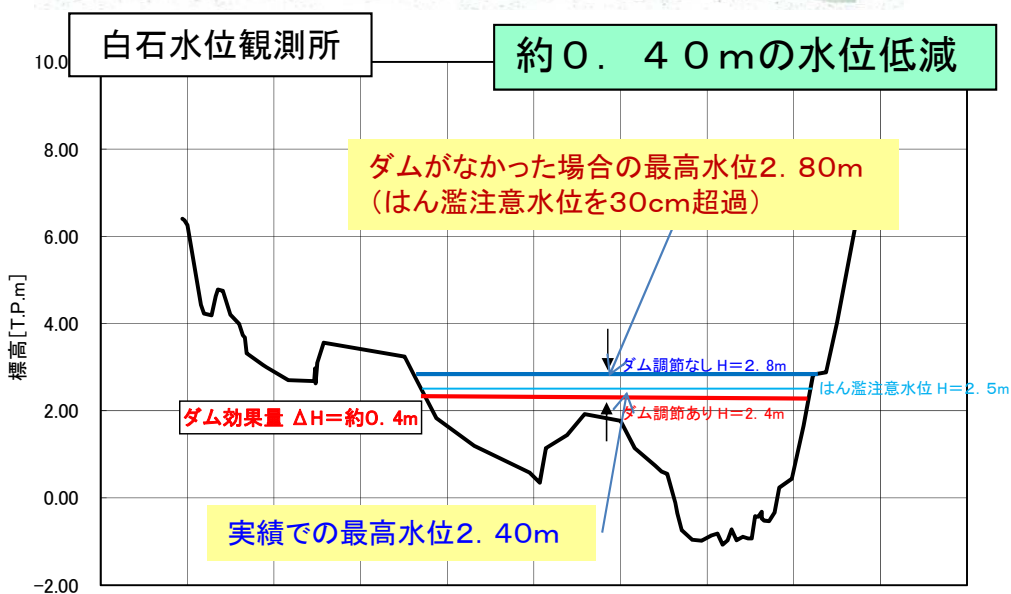
○今回の出水においては、**ダム下流に流す水の量を最大流入量時約300m³/sの調節をおこない**、下流の白石市内(白石水位観測所:同市半沢屋敷)で、**水位を約0.40m低減させ、はん濫注意水位以下に抑える効果**があったものと推測されます。

○8月17日台風7号出水から**3週間連続での出水となるのは管理開始以降初めて**で、今回貯め込んだ容量は総量で約1,000万立方メートル(東京ドーム約8杯分)となりました。

○今年8月のこれまでのダム流域平均降雨量は423.6mmで**過去10ヶ年平均8月降雨量の3.0倍**に相当します。



白石川(白石地点)



※本資料の数値等は速報値であるため今後の調査で変わる可能性があります。